

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2015-07-01

No. 66



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: マルチメディア機器エミッション試験規格 CISPR 32 第2版の概要	3
IEC: 新規格リスト	8
ISO: 新規格リスト	10
国際テーマ: UNECE: 1956 年協定の付属 UN 規制及びそれらへの修正の現況文書	12
国際テーマ: 電気自動車 (EV) 電気自動車充電設備 (EVSE) に適用される規格の概要	14
国際テーマ: Nemko news in Brief からの抜粋	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16

USA: FCC: Part 0,1,2,15,68: TCB に関する無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正	17
USA: FCC: KDB: デジタル伝送システム (DTS) 機器を測定するための試験手順	17
USA: FCC: KDB: FCC 委員長、ワイヤレス業界に盗難防止技術を採用するよう要求	18
USA: CPSC: 試験&証明書: 子供向け製品に対する要求事項	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	20
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	21
USA: IEEE: 新規格リスト	22
カナダ: RSS-247- デジタル伝送システム (DTS), 周波数ホッピング (FHS) 等規格発行	23
カナダ: 官報通知: 電波障害引き起こし機器規格「ICES-008, Issue1: ケーブル配信網」	23
カナダ: 官報通知: 無線標準仕様 RSS-119, Issue 12, 陸上移動及び固定機器	23

EU: チュートリアル: 欧州への商品出荷の基礎知識: 本号休載	25
EU: 新無線機器指令 (RED) 制度化の最新状況について(3/3)	25
EU: R&TTE CA: R&TTE から RED への移行に関する問題を協議	29
EU: CENELEC: 整合規格リスト発行: 玩具指令	30
EU: 非常停止装置(機械指令 MD の付属文書 I 1.2.4.3) :機械作業班会議文書	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	31
EU: ETSI: 新規格リスト	37
オーストラリア: EMC 規格リスト 2015/5/25 更新	38

中国: CQC: 情報技術機器およびその付属品の安全ならびに電磁適合性認証 新版規則	39
中国: CQC: ルームエアコンの快適性認証業務開始に関する通知	39
中国: CQC: 電気自動車用のモータおよびそのコントローラの安全認証業務開始	40
中国: 新規格リスト	40
台湾: 「移動感知式 LED 電球商品」性能試験の規格 CNS 15630 の試験項目の局長令	42
台湾: 新規格リスト	42

総務省: 人体側頭部に近接して使用する無線機器等に対する比吸収率の測定方法	43
総務省: 電気自動車用ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件報告 (案)	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (通達) の一部改正	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 関連 (整合規格の採用)	44
経済産業省: 電気用品安全法のホームページに対象非対象関係 (5 品目) を追加	44
経済産業省: 通信設備以外の高周波利用設備の型式の条件が改正	44
経済産業省: 家庭用冷蔵庫関連規格の JIS を制定・改正	44

ちょっといっふく: 小クイズコーナー インド BIS 規制強制日に関して	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	24
コスモスからのご案内: 欧州 3 指令 (新無線機器指令 等) 比較表販売のご案内	28
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: マルチメディア機器エミッション試験規格 CISPR 32 第2版の概要

- マルチメディア機器エミッション規格 CISPR 32 の第1版発行から3年が経過し、その第2版が2015年3月31日付で発行された。ここでは第2版の内容として、第1版から改訂された部分について解説するとともに、本年5月にカリフォルニア州サニーバールで開催された SC-I/WG2 会議において第2版の改訂に向けた審議が始まっているので、そこで提起された将来課題についてまとめた。

国際テーマ: UNECE: 1956 年協定の付属 UN 規制及びそれらへの修正の現況文書

- UNECE: 1958 年協定の付属 UN 規制及びそれらへの修正の現況に関して、事務局に入手できた情報を記載する文書が定期的に発行されている。本文書は 2015/2/20 現在のもの。
- 1958 協定 (1958 Agreement) 成立の経緯、及び発行文書に記されている.../Amend.X、.../Rev.X、.../Corr.X 等の使い分けが説明されている。
- 「Part I 協定への締結当事者、UN 規制のその適用日及び指定された型式承認当局、及びテクニカルサービス」では、UN 規制 No. 1 から No. 135 迄のそれぞれに対し、E 1 国から E 62 国までのそれぞれの国の適用日、指定型式認証機関、指定テクニカルサービスが、一覧表で表示されている。

国際テーマ: 電気自動車 (EV) 電気自動車充電設備 (EVSE) に適用される規格の概要

- EV に関する UL 安全規格、EV に関する国際 (IEC) 規格、及び EV に関する SAE 規格

USA: FCC: Part 0,1,2,15,68: TCB に関する無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正

TCB に関する無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正

- 無線周波機器の認証プログラムは、新しく革新的な製品の市場への継続的で迅速な導入を促進するために更新される。今回官報に掲載され、2015年7月13日発効。

USA: CPSC: 試験&証明書: 子供向け製品に対する要求事項

- 米国消費者製品安全委員会は、対象製品に対し特定の試験および証明書を義務付けている。子供向け製品、乳幼児向け製品については、追跡ラベルの表示等が義務付けられている。

EU: R&TTE CA: R&TTE から RED への移行に関する問題を協議

- ラジオ、TV 等放送受信機: 2016年4月20日 (EMC 指令施行日) から 2016年6月13日までの2ヶ月間については、これらの製品は厳密には新規 EMCD および LVD に従う必要があるが、これら製品の製造業者が短期間に DoC を2度更新する必要があるような現実的なアプローチを特定 identify することが、(欧州)委員会は、求められている。

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 関連 (整合規格の採用)

- 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (通達) の一部改正 (整合規格の採用) に対する意見募集。今般、迅速に最新の国際的な技術動向を反映させるため、既に採用済みの JIS の最新版への見直し等を行う。

社長の独り言

2015 年 6 月 25 日
濱口慶一

皆さん、今年は例年の鬱陶しい梅雨が少し変化していると思いませんか？寒かったり暑かったり、大雨だったり、何時もと少し違うような毎日ですね。くれぐれ変調気味の気候に負けないように御注意下さい。

突然ですが、皆さんは、神様は本当にいるのではと感じさせられることがありますか？

農業を始めた頃、世間ではフォークソングが流行っていたので、ギターを買って練習しようとしたら農機具のカッターで左手中指の先端を切ってしまいました。相当の衝撃があったのか自動巻の腕時計も完全に止まっていました。また、サラリーマンに戻ってからゴルフ位は出来る方が良いと思い、打ちっ放しの練習を始めるためにゴルフ用具を購入しましたが、すぐに胆石の手術を受ける事になり、ゴルフ用具の初使用の日が遠のきました。6 年ほど前にゴルフに再チャレンジするも、ヘルニアによる激しい腰痛に我慢出来なくなり、背中手術を受ける羽目になりました。その後コースでのラウンドに誘われた時には 148 も叩いてしまい、大変不名誉な記録のブービーメーカーの賞をいただきました。これらのことを私なりに考えると、仕事以外の事に目を向けるなどの神様からの警告だったと今思うようにしています。

一方、工業高校で当時は倫理社会の授業があり、先生のたとえ話に反発したことを思い出します。それは小さな島に 10 人が取り残され、本土に泳ぎ渡るにも多数の人喰いサメが待ち構えていると仮定して、10 人が考えて 1 人をサメの餌食にすれば何とか 9 人は助かる。それでは君をみんなで選んだから犠牲になって下さい、民主主義とはこういうことです、との先生の説明が、その時の都合に合わせて都合良く理解しているように思えて大いに反発したものです。

神の存在を感じたり、存在しないというのも、その時の都合のいいように決めつけられており、逆に自分もそのように思われるのかもしれませんが、あえて言えば人間には全能の神がいた方が、神への恐れもあって良いように思うのは私だけでしょうか？この地球上には多くの宗教があり、それぞれに信仰されている神がいますが、異宗教の否定や、その信仰を受け入れない人への敵意のようなものや行動には疑問を持っています。八百万（やおよろず）の神的な日本人的な信仰を受け入れる文化が今は必要と思うのですが？

子供が 4 人もいましたので、小学校の PTA 役員をさせられましたが、この種の問題が現実にあることを思い知らされた事件が PTA で起こりました。同じ学区には親子会があり、梅雨明けの夏休み前頃に子供神輿の行事があります。行事の後は地元の神社に全員で奉納となるのですが、信仰上行けない、行かせない、強いてはそのような親子会には参加しないという親が出てきました。当時、学校が夏休みにプールを子供達に開放していたのですが、事故防止の為にプール監視員が親子会の受け持ちで、親子会の会員以外の子供のプールへの入水を禁止、排除する事態が長い間続いていたのです。そして同じ小学校の児童でも夏休みにプールに入れる子と入れない子がいることがわかってきました。勿論、私は親子会が管理することでそういう事態が生じるなら、PTA でプール監視当番をすることにして、子供達が親の宗教の違いからプールの利用を阻害されることを丸二年かけて解消しました。事故が生じたら PTA 会長個人で責任を取れ、と激しい反対意見もありましたが、今は何の条件も無く生徒はプールで楽しく泳いでいます。

信仰の自由は保証されるべきですが、分別のつかない子供達に大人の論理を押し付けるのも、どうかと思います。ここは古い日本人社会の良い手法（？）で全ての神を尊重し合うことが良いように思うのですが、間違いでしょうか？可愛い孫や同じ年頃のお子さんを見ると最近そう思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2015-07-01 (No. 66)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2015 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。